



**発行所**  
関西配管工事業協同組合  
〒531-0071  
大阪市北区中津1-2-19  
新清風ビル7階  
TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

**編集者**  
事業部・教育情報部  
HP:<http://www.kankan-club.or.jp/>  
E-mail:jimu@kankan-club.or.jp

発行日  
平成23年7月28日

Vol.54



## 関 西 配 管 工 事 業 協 同 組 合 機 間 誌

### もくじ



● 第15回通常総会開催	2
● 平成23年度事業計画	3
● 組合役員構成	3
● 組合組織図	4
● 震災被災地へ義援金贈る	4
● 「労働保険に入っていますか」	4
● 認定職業訓練講座を開催	5
● 第29回三団体懇談会開く	6
● 理事会 議事要旨	7
● 新組合員	7
● ニュースフラッシュ	7
● 日管連 九州で定時総会開催	8
● 青年部 大阪ガス事業所見学	10
● 関連4団体協議会開催	10
● 歳時記(夕立)	11

## 第15回通常総会開催

### 今年度も多彩な事業を展開

#### 新副理事長に庄司氏選任

組合の第15回通常総会は5月26日、組合事務局近くの三栄ビル会議室で開催し、各種研修・講習事業を一段と拡充し技能の向上により業界のレベルアップを図っていくことを確認したほか、役員改選では斎藤昭一理事長の留任を決めました。



冒頭挨拶に立った斎藤理事長は東日本大震災により総会後の懇親会を自粛したことを説明しました。庄司真之理事の司会で加藤猛理事を議長に選出して議事に入り、平成22年度会計・事業報告を行い、23年度の予算・事業計画を決めました。今年度は、引き続き上部団体・日本配管工事業団体連合会と連携して業界の社会的地位の向上を図ることとし、登録配管基幹技能者や1級配管技能士の資格取得へ向けた各種講習に力を注ぐことを申し合わせました。

また、ダクト工事業、保温保冷



工事業と共に通する課題が数多くあることから、関連3団体で会合して意見・情報を交換していくこととしました。さらに3団体に工事発注元であるサブコン団体にも関わってもらい、設備工事業全体で取り組むべき課題について共同で解決の糸口を探していくことを確



認しました。

任期満了に伴う役員改選は指名推薦方式が採択され、3名の選考委員が選出されて理事12名、監事2名が選ばれ、満場一致で新役員に選任されました。今回の改選で理事13名中、2名が退任し、新たに1名が選任されたほかは全員留任となりました。監事2名も留任となりました。新役員選任後、直ちに理事会が開催され、理事互選により、斎藤理事長、玉川義光副理事長、山田誠香副理事長の留任を決め、副理事長を勇退した立花忠夫氏に代わって庄司真之氏が副

理事長に新任となりました。立花氏は理事に就任しました。また、理事会では総務、事業、教育情報の各部会長・副部会長・担当理事も決めました。

引き続き理事長に就いた斎藤氏は挨拶の中で、ゼネコン・サブコン・配管工事業と続く業界の重層下請形態には採算面をはじめとする多くの困難な問題が内包されているとし、「配管業界が適正な利潤を確保できるよう正常な状態に立て直すには相当な努力と時間が要り、業界・組合が一致団結し取り組まなければならない。また現在、関西では受注を選び好みできるほど仕事量はなく業界は冷え切っている。この厳しい景況を協力して乗り越えよう」と述べました。

今回、副理事長を退任し理事に就いた立花氏は、平成9年に理事に就任、専務理事(13年～17年)、副理事長(17年～23年)を歴任し、組合・業界の発展にご尽力されました。また今回、理事(顧問)を退かれた高井史郎氏は協同組合創立の平成8年から13年まで副理事長、13年～17年は理事長として活躍され、その後も理事として組合・業界の発展に尽くされました。

# ◇平成23年度事業計画◇

(23年4月1日～24年3月31日)

## 【総務部事業計画】

1. 組合員企業の経営に役立つ事業の計画と実施
  - (1) 経営者及び次世代経営者のための講演・研修会の実施
2. 組合並びに業界の社会的地位と認知度の向上を図る
  - (1) 日管連の企画実施事業に積極的に参加協力する
  - (2) 設備関係の団体との協議会などを通じて関係業界との意志疎通を図り、建設業界における当組合、ひいては日管連の地位の確立と向上を図る
3. 組合の発展と財政的基盤の維持向上を図る
  - (1) 組合員（正組合員・賛助会員）の拡充を図るための研究をする
  - (2) 組合財政の収支バランスを見直し健全な運営を図る
4. 組合員相互間の交流と相互理解を促進する
  - (1) 組合員相互の親睦を図るため、新年賀詞交歓会、見学会など全組合員対象の行事を企画実施するとともに、組合員懇談会を随時開催し、情報交換を図る
  - (2) 組合員及び所属優良従業員の表彰制度の実施に向けて準備する
5. 青年経営者・後継者の拡充強化を図るため、組合青年部の活動事業を支援する

## 【事業部事業計画】

1. 労働保険事務組合認可に伴う事務処理体制の確立と、一人親方労災保険特別加入の充実を図る
2. 作業服・ヘルメットなどの斡旋業務の見直しと組合取扱資材の増強を図る
3. 「工事作業日報」の充実活用と「配管工事積算工費資料」の改訂版発行の計画をする
4. 賛助会員並びに管工機材団体との懇談会の開催を実施する

## 【教育情報部事業計画】

1. 各種の資格取得支援の体制を維持・充実させ、技術研修会を開催し、高度な技能の伝承に努める
2. 認定職業訓練短期課程配管科1級技能士コースの実施並びに技能検定試験事前実技講習を実施する

3. 「配管技能士」の社会的地位と認知度の向上を図るため長期的視野のもと研究に努める
4. 「登録配管基幹技能者」の確保・育成・活用の推進と「基幹技能者講習」の開催協力を図る
5. 機関誌「KAN KANくらぶ」の発行と内容充実を図る
6. 組合員相互間における工事施工繁忙情報事業の見直しと工事施工協力の活用方法を研究する
7. 第15回管工機材・設備総合展開催に伴う後援と総合展への出展

## 【青年部会活動計画】

1. 日管連全国青年部会との親睦・交流を図る
2. 毎月1回の例会を開催し、情報交換を図る
3. 工場見学会・勉強会・親睦会の実施
4. 親組合の記念行事・展示会などへの支援・協力
5. 青年部会への新規加入部会員の募集
6. インターネットを活用し、組合事業活動並びに青年部会の活動をよりPRする

## 組合役員構成

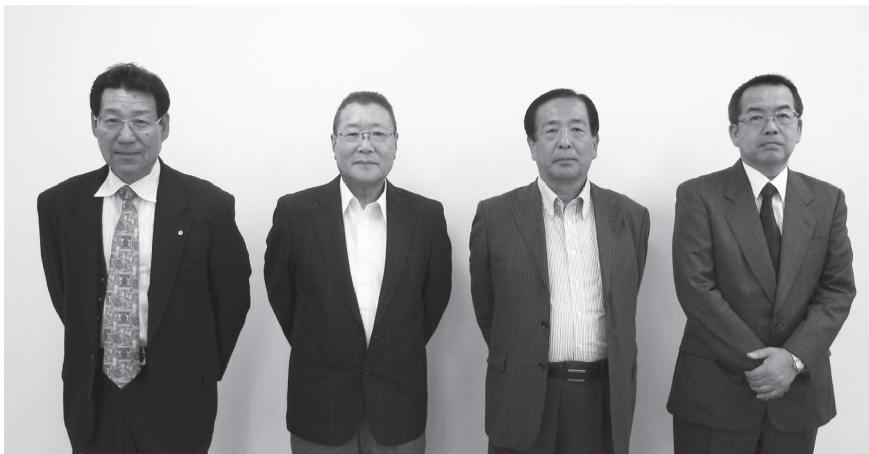
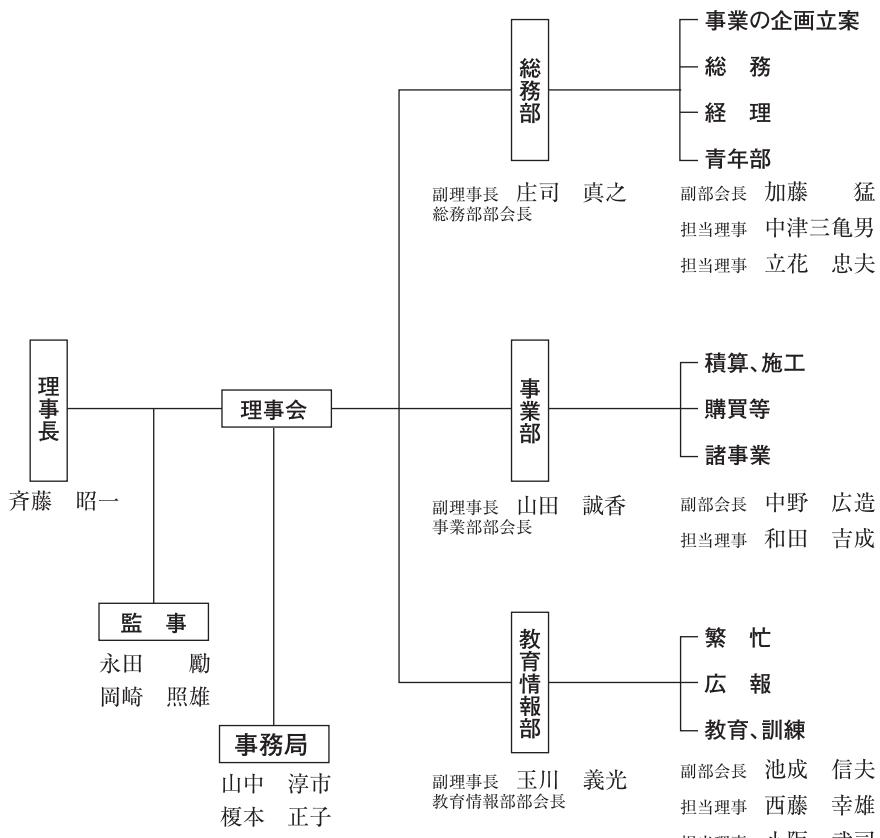
(平成23・24年度、敬称略)

- 理事長 斎藤 昭一 (株)三進興業所  
副理事長 玉川 義光 (玉川設備工業株)  
副理事長 山田 誠香 (株)寿工業所  
副理事長 庄司 真之 (株)ツカサ  
理事 加藤 猛 (株)ティ・エム・プラント  
理事 和田 吉成 (株)和田設備工業  
理事 中野 広造 (中野設備工業株)  
理事 池成 信夫 (有)信成設備工業  
理事 中津三亜男 (株)中津  
理事 西藤 幸雄 (藤工業株)  
理事 小阪 武司 (小阪設備工業株)  
理事 立花 忠夫 (株)藤尾設備工業所  
監事 永田 勲 (サヤカ工業株)  
監事 岡崎 照雄 (岡崎産業株)

## 部 会

- 総務部・部会長 庄司 真之  
事業部・部会長 山田 誠香  
教育情報部・部会長 玉川 義光

## 関西配管工事業協同組合 組織図



正副理事長（左から玉川副理事長、斎藤理事長、山田副理事長、庄司副理事長）

## 東日本大震災被災地へ 義援金を贈りました

当組合では、3月11日に発生した東日本大震災の被災地に向けて義援金を贈りました。4月7日開催の理事会で義援金募金の方法と金額について協議した結果、日本配管工事業団体連合会（日管連）並びに大阪府中小企業団体中央会の2団体を通じて義援金を贈ることを決め、日管連には33万円、大阪府中央会には5万円の義援金を拠出しました。

また、組合青年部会からも東北配管組合青年部会へ義援金として10万円を贈りました。

## 事業主の皆さん、労働保険に入っておられますか？

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。労働保険とは「労災保険」と「雇用保険」を総称したもので、労働者を1人でも雇用している事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

### お問い合わせ先

- ◇労災保険制度については  
労働基準監督署へ
- ◇雇用保険制度については  
ハローワーク（公共職業安定所）へ

.....

【労働保険事務委託団体・労働保険事務組合】

関西配管工事業協同組合

.....

【労災保険・特別加入団体】

関西配管工事業協同組合・一人親方組合

## 1級配管技能士めざす

組合の教育情報部会（部会長・玉川義光副理事長）が担当している認定職業訓練講座（配管科・1級技能士コース）が4月から9月まで尼崎市武庫豊町の兵庫職業能力開発促進センター（ポリテクセンター兵庫）で行われています。受講者は1級配管技能士の資格取得をめざして熱心にカリキュラムに取り組んでいます。

認定訓練講座は大阪府の認定を受けた短期課程職業訓練です。この認定訓練講座を修了するには全訓練時間の80%以上の出席と最終日の修了試験に合格しなければなりません。修了者には、技能検定国家試験（建築配管作業）における学科試験免除の特典が与えられます。講座は、ポリテクセンター兵庫で4月17日からスタート、9月4日までの日曜日、延べ15日間・120時間（学科25科目）にわたりて続けられます。

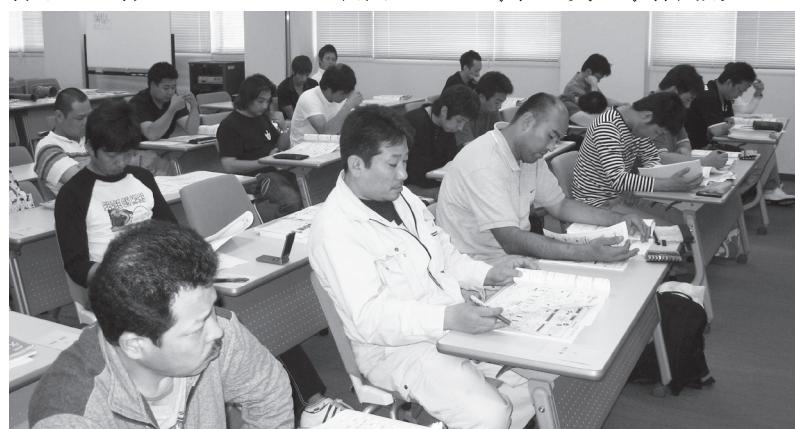
今年度は30名の講習生が11名の講師から学んでいます。すでにこれまで流体の基礎理論・熱力学の基礎や材料各論、施工法、建築配管などが行われ、これから製図、



関係法規、安全衛生などの科目的講習が続けられ、最後に全科目の総まとめ（監督・玉川教育情報部会長）と修了試験が行われます。受講者の皆さんには、暑い中、休日返上で元気で研修に取り組んでいます。受講者の周囲の方々のご理解をたまわりますようお願い申し上げますとともに、今後とも認定職業訓練講座の積極的な活用をお願いします。

### 【講師の先生】（50音順、敬称略）

- ◇新井正信 ◇今口均 ◇大原明
- ◇鬼武孝一 ◇坂元日出海
- ◇佐々木鋼一 ◇佐藤昭利
- ◇柴田健治 ◇瀧口佳典
- ◇松口真五 ◇森良則



真剣な表情で講義に臨む受講者

### 【受講者の皆様】

（社名50音順、敬称略）

- ◇阿部設備 = 阿部公彦
- ◇イーテック = 網師宏之
- ◇浦設備工業所 = 大形容三
- ◇岡野工業(株) = 関谷光二
- ◇北設備(有) = 北久晃
- ◇クミ土木興業 = 南和伸、南秀治
- ◇阪口電設工業(株) = 阪口祐紀
- ◇佐々木興業 = 住友俊
- ◇新川管工 = 大角哲也
- ◇(株)摂津管工 = 石田淳
- ◇(株)セントラル医療設備 = 帆玉勝
- ◇相栄工業(株) = 荒木耕也、酒井豊、塙野智紀、赤松良祐
- ◇(有)東豊設備 = 首藤祐一
- ◇東和管工(株) = 木村雅史
- ◇西村設備 = 勝馬義行
- ◇(株)畠中工業 = 原口悟
- ◇原田工業(株) = 高田寛之、金子邦宏
- ◇富士設備 = 岩崎真司
- ◇測田工業(株) = 時田宣幸
- ◇森内工業 = 仲川寿彦、楢瀬武
- ◇山脇設備(株) = 山脇輝仁
- ◇和田建設(株) = 津田誠

## 第29回三団体懇談会開く

### 現場のトラブル防止策話し合う

当組合、近畿空調工事業協同組合(ダクト組合、理事長増田岳史氏)、近畿保温保冷工業協会(保温保冷組合、会長細見義征氏)は、3月7日午後3時から5時まで当組合事務局近くの三栄ビル会議室で第29回懇談会を開催し、「工事現場におけるトラブルとヒューマンエラーの防止策」について話し合い、解決の糸口を探りました。

懇談会にはダクト組合から4名、保温保冷組合から6名、当組合から7名の計17名が出席。開催当番幹事の当組合・齊藤昭一理事長の司会で進められました。

工事現場でのトラブルとヒューマンエラーの防止策については、当組合の玉川義光副理事長から配管組合とサブコン有志一同課長会との会合の際、サブコン側から示された「設備工事における不具合事例集(17事例)」をもとに意見交換が行われました。その中では、「サブコン側で工程管理を確実にやってほしい」「配管設備は、竣工後いつまでも修理に行くことになる。その費用はわれわれの負担となっている」「設備を使用する



当組合出席者（正面）

側にも誤った使用方法による事故が発生している」「サブコン側から使用者に対し設備機器の正しい使用方法を周知徹底してもらいたい」「最近、ダクト工事においても破裂・落下事故が発生するなど施工不良が多く出るようになつた」「損害保険の補償でも、一時的なものより二次的な損害が大きいので、保険加入の時に加入方法を考える必要がある」「無理な工程管理を組まないように、われわれ専門業者からサブコン側に申し入れる必要がある」——などの意見が出ました。

「各組合員の協力業者に対する建設業許可取得」の議題については、滋賀県の建設業者が建設業無許可営業容疑で逮捕され、会社捜索、入札参加停止処分を受けた例が示され、それぞれの立場から意

見を述べ合いました。こうしたケースでは、配管・ダクト・保温保冷の業界にも影響を及ぼすことが考えられ、協力業者には建設業の許可を取得するよう働きかける必要があるとの見解で一致しました。また、「工事施工の際、協力業者が建設業の許可を取得しているかどうか、サブコン側から聞かれる場合がある」「協力業者に対しては、許可取得ができやすいように、われわれも協力する必要がある」などの意見が出されました。

懇談会では、組合員の増強と組合組織の充実策についても情報・意見交換しました。また今後の三団体懇談会の日程も決定しました。最後に次回開催幹事団体である近畿保温冷工業協会・細見義征会長から閉会の挨拶があり、「今年の後半には若干忙しくなると思うが、材料が値上がりしそうで、また材料不足も心配される。こうしたさまざまな問題に対処するには、三団体で連携を密にして手を取り合っていきたい」と述べました。

なお、次回の三団体懇談会は、今年11月17日に保温保冷組合の当番幹事で、その次は来年3月12日にダクト組合の当番幹事で開催することとしました。



# 理事会 議事要旨

## 【23年1月】

- ①22年度1級配管技能検定受験対策実技講習の結果報告
- ②22年度「登録配管基幹技能者講習」受講申込者数の報告=△近畿会場81名
- ③23年度認定訓練配管科1級技能士コース受講申し込み応募状況報告
- ④「動産総合保険」の保険内容と取り扱いの検討
- ⑤第29回三団体懇談会開催に伴う、当番幹事団体として当組合からの提案事項の検討
- ⑥新年賀詞交歓会の運営順序の打ち合わせ
- ⑦その他=△2月定例理事会の休会の件△大阪配管高等職業訓練校の第49期訓練生募集案内

## 【23年3月】

- ①新年賀詞交歓会の結果報告
- ②23年度認定訓練配管科1級技能士コース受講申し込み状況とカリキュラム・講師決定の報告
- ③賛助会員の脱退申し出の件
- ④第15回管工機材設備総合展・出展申し込み検討
- ⑤第29回三団体懇談会開催に伴う、当組合から提出する議題の説明担当者について
- ⑥第15回通常総会開催日程と開催場所・方法の検討
- ⑦23年度組合事業計画並びに予算編成の基本方針検討

## 【23年4月】

- ①22年度後期技能検定試験・配管(建築配管作業)受験の結果報告=△22年度の合格率は、全体で1級55%。当組合より合格率は1級のみで73%
- ②23年度認定訓練配管科1級技能士コース受講申込者の報告と開講について=△4月17日~9月4日までの15日間。ポリテクセンター兵庫において実施。講師は11名
- ③第29回三団体懇談会出席報告
- ④大空衛主催の第6回四団体協議

会出席の報告

- ⑤日管連理事会出席の報告
- ⑥賛助会員の脱退申し出の件
- ⑦組合員の脱退申し出の件
- ⑧23年度1級配管技能検定受験対策実技講習の実施日程と講習会場について=△12月16日を準備日、12月17日~12月18日の2日間講習日。会場は大阪府立南大阪高等職業技術専門校
- ⑨23年度組合行事計画予定表の作成
- ⑩23年度組合事業計画書(案)並びに収支予算書(案)の策定
- ⑪日管連並びに大阪府中央会からの東日本大震災義援金の協力依頼について
- ⑫その他=△日管連からの依頼「転造ねじ使用実態に関するアンケート調査のお願い」の件

## 【23年5月1回目】

- ①第4回サブコン有志一同会・長会と配管組合との勉強会開催日程・場所・議題の検討
- ②22年度組合事業報告並びに決算報告承認について
- ③第15回通常総会議案並びに総会議事運営方法
- ④その他=△6月定例理事会の休会の件

## 【23年5月2回目】

- ①第15回通常総会の運営順序についての打ち合わせ
- ②副理事長の選任
- ③総務、事業、教育情報の各部会長及び副部会長並びに各部会担当理事の選任

## 【新・組合員】 有限会社 東豊設備

代表者 首藤 豊

住所

〒572-0022

大阪府寝屋川市緑町12番3号

Tel.072-834-9249

Fax.072-834-9249

## ニュースフラッシュ

### 建設「駆け込みホットライン」への通報増加

国土交通省は、各地方整備局などに設置している「建設業法令遵守推進本部」の平成22年度活動結果を明らかにした。それによると、同本部の「駆け込みホットライン」に寄せられた電話などの件数は、法令違反情報の通報をはじめ建設業法に関する質問・相談も含め1511件あった。違反情報の通報は20年度1213件、21年度1463件と年を追って増加している。

### 下請代金法違反 昨年度は過去最高

中小企業庁は、「下請代金法」に基づく平成22年度の取締状況を公表した。昨年度は24万9588社に書面調査を行い、違反の恐れのある1224社に立入検査などを実施、うち1143社に対し過去最高の3219件(前年度2512件)の違反事項について書面による改善指導を行うとともに、減額した下請代金などの合計約10億2100万円(同約4億円)の返還を親事業者に指導した。

### 建設業許可業者50万切る 管工事業者も減少続く

平成22年度末(今年3月末)の建設業許可業者数が前年度末比2.8%減少し、昭和56年以来30年ぶりに50万を切ったことが国土交通省の調べで分かった。ピーク時から一般建設業許可業者は17%、特定建設業許可業者は12%それぞれ減少し建設業界の長期低迷を物語っている。管工事業者は1.6減少、過去10年間のピークの平成16年度末から7.2%減少した。

# 日管連 九州で定時総会開催

## 今年度実践スローガン

「豊富な技能 確かな施工 任せて安心 日管連」



当組合の上部団体・日本配管工事業団体連合会（日管連）は7月13日、福岡市のホテルオークラ福岡で平成23年度定時総会（第6回総会）を開催し、登録配管基幹技能者の資格取得へ向けた研修事業などで人材育成を図り、業界のレベルアップに取り組むとともに、「豊富な技能 確かな施工 任せて安心 日管連」の今年度実践スローガンを決議しました。

今回の総会・懇親会の全体会合は九州配管工事業協同組合（理事長長谷川清氏＝日管連副会長）が担当組合として開催。北海道、東北、関東、中部、関西、中国の各組合代表者らに地元九州組合の役員・組合員・賛助会員が加わり、さらに関連団体やサブコン代表者などの来賓を合わせ約120人が参集しました。当組合からは斎藤昭一理事長（日管連副会長）、玉川義光副理事長（同理事）、立花忠



挨拶する相馬新会長

夫理事（同理事）、山田誠香副理事長（同代議員）、庄司眞之副理事長（同代議員）が出席しました。

総会では長谷川副会長が開会の辞を述べたあと、その直前に開いた理事会で清水昌夫会長の辞任に伴い、相馬辰夫氏（前中部配管工事業協同組合理事長・日管連副会長）が新会長に選任されたことが報告されました。相馬会長は「昨今の経済情勢や

配管工事業を取り巻く経営情勢は厳しい。清水さんのあとを受けて、力不足だが、業界の発展に力を注ぐ」と挨拶し、同氏を議長に議事に入り、平成22年度の事業・決算報告に続き23年度の事業計画・予算を審議決定しました。今年度の事業については、登録配管基幹技能者の育成と活用促進を中心に、高齢者の現場就労確保、空調（ダクト）工事、保温保冷工事の関連団体との情報・意見交換、青年部組織への支援などに取り組んでいくこととしました。

懇親会には来賓も加わり、開催地代表の長谷川副会長、相馬会長の挨拶に続き、日本空調衛生工事業協会九州沖縄支部の清田均支部長が来賓挨拶し、九電工福岡支店の高橋隆一郎副支店長の発声で乾杯したあと、賑やかな交流が繰り広げられました。

## 平成23年度事業計画(要旨)

東日本大震災の復興に向けて官民一体となった歩みが進められています。この機会に、私どもが養った管工事に関する幾多の新技術が陽の目を見るチャンスにできなかいか、また、環境保全、省エネルギーについても同じことがいえると思います。そのためには、私ども日管連の傘下に集う全ての組織及び個人の方々が技術・技能の向上、平均化のため、数々のノウハウを今こそ軌道に乗せる努力をすべきだと考えます。私ども配管工事を営む事業者は今日の異常な受注価格の中、不採算にもかかわらず日々正常なライフラインを維持するため努力しております。全ての人々が日常昼夜を問わず利用されている機器及び配管が必要な

精度と収まりにより、快適な日常生活を提供しているという自負を持ち、より一層の技術・技能の向上に努め、業界の基本レベルを底上げし、日管連の存在意義を知らしめるべく共に頑張りましょう。

登録配管基幹技能者数は1856名(特例講習未受講者149名)となっています。建設設備の配管工事を営む私どもが国・自治体・民間全ての建設設備における配管工事に責任をもって応えていくためにも、この登録配管基幹技能者の資格の意味は大きいと考えます。今年度も登録配管基幹技能者講習を3回開催する予定です。また、特例講習も例年に準じ開催の予定です。建設設備の基幹業種である配管工事業のレベルの底上げはいうに及ばず、皆様の経営安定のた

め、ご支援、ご協力をお願いします。

### ◇各種委員会事業計画◇

#### 【総務委員会】

- (1)各地区組合員の増強
- (2)建設業法・労働者派遣法の遵守と指導
- (3)各地区設備三団体設立支援と交流促進
- (4)登録配管基幹技能者資格取得支援及び社会的地位の向上促進
- (5)東日本大震災被災地区の復興支援

#### 【労働厚生委員会】

- (1)登録配管基幹技能者の活用促進
- (2)高齢者就業確保に関する施策
- (3)労働災害の防止

#### 【技術委員会】

- (1)登録配管基幹技能者認定取得の推進
- (2)登録配管基幹技能者の現場活用に対する提言
- (3)技能工のレベルアップ活動(現場OJT教育の実践)

#### 【経営委員会】

- (1)潜在する技術・技能・施工の周知を集めて、この機会に各所にアピールする
- (2)業界の経営安定のため、多大な経験を有する年配者、パワー溢れる世代の者、夢を持ってこの業界にきた若者全てに将来希望の持てる業界とするための基礎をつくる
- (3)上記(1)(2)を実践的に行い得る人材の育成のため、実務に直結したセミナーの実施を計画する

#### 【青年部会】

- (1)23年度第2回青年部会の開催
- (2)青年部会役員会の開催



関西組合出席者(前列左・立花氏、同右・玉川氏、後列左・山田氏、同右・庄司氏)

## 大阪ガス泉北製造所を見学

組合青年部は、6月度例会として同月16日、大阪府高石市高砂3丁目1番地の「大阪ガス 泉北製造所」を見学しました。

オブザーバ参加を含む一行8人は、最初にガス科学館の講義室で同工場の経緯や業務内容の説明を受けてからマイクロバスに乗り、構内を移動しながら見学。長さ2kmにわたる広大な敷地の中の、都市ガスの精製工程設備やそのた

めの安全設備、そして都市ガスを使った発電所を見てまわりました。

体感型の展示館では液化ガス輸送に欠かせない液体窒素の仕組みやガスエネルギーの能力を解りやすく教えていただきました。

見学後、講義室に戻り、質問の時間をとっていただき、この工場での安全管理や人員の管理体制、天然ガスの輸入の現状、政府によってすすめられているガスによる

発電の将来性などをお聴きしました。東日本大震災以降、常に話題になっている電気エネルギーに代わるエネルギーの問題や原子力発電に代わる火力発電所について考えるとても良い機会になりました。

工場見学後、堺東駅前で例会・懇親会が行われ、今後の活動内容について意見交換を行い、大変有意義な移動例会となりました。

(青年部・小阪武司)



## 関連4団体協議会を開催

## —震災の影響、情報交換—

## 現場での諸問題も話し合う

サブコン団体の大空調和衛生工業協会（大空衛、会長大平哲也氏）と当組合、近畿空調工業協同組合（ダクト工事、理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事、会長細見義征氏）で構成する4団体協議会の第7回会合が7月11日に大空衛事務局会議室で開かれ、東日本大震災による関西地区業界への影響などに

ついて情報交換が行われたほか、現場で生じる諸問題も話し合われました。

協議会会合には当組合から玉川義光、山田誠香、庄司真之の3副理事長と立花忠夫理事が出席。まず、東日本大震災の関西地区への影響について意見交換が行われました。この中では、「当初、東北地区へ応援チームを派遣したが、

大きな仕事もなく引き上げてきた。戸建て住宅などは甚大な被害があったが、相当規模以上の箱モノの被害が少ないので、または公共施設を含めてまだ復興の予算がついてない状況なのか分からぬが、現時点では応援の要請がない」（サブコン）、「最初だけプラント関連の仕事の要請があったが、事情で断ったあとは要請がない」（配管）などの意見に代表されるように、関西の設備業界への影響は限定的との見方が大勢を占めました。

一方、震災直後、塩ビ製品が極



端に品不足になったように、震災の影響が考えられるとして資材（配管材・保温保冷材）の価格動向について情報交換が行われました。多くの資材に高騰気配が強く感じられるとして「今は震災を考慮して表立った動きは控えられているが、早晚、値上げは必至。そのタイミングをはかっているようだ」との見解で一致しました。とくに、銅製品の価格引き上げが迫っているとの情報が出されました。ただ、材料の需給状況につい

ては「現時点では需要の冷え込みもあってタイト感はうかがえない」との意見がみられました。

現場における諸問題では、資材の現場搬入の経路・場所・時間などで〈しばり〉が厳しく、コスト高を招いているとの現状が報告されました。また、現場での〈産廃〉問題については、「ゼネコン、サブコンとも企業によって一所懸命に取り組んでいるところと、そうでないところの格差がありすぎる」などの意見が出され、

「今後、行政も含めて突っ込んだ要望を行っていきたい」としました。

人材育成については、「仕事の見通しが立たない業況が続き、人の確保・育成がきわめて困難。建設業全体の向上のためにも、この窮状を幅広く訴えていく」などの意見が出されました。このほか、3業種の基幹技能者の取得状況などの情報も交わされ、徐々にではあるが、基幹技能者の全国的な広がりとその評価が進みつつある現状が報告されました。



夕立に似たものとして、近畿地方で上空の強い寒気の影響で大気の状態が不安定になり、和歌山や奈良でゲリラ豪雨が相次ぎました。通過した三重県桑名市では午後7時までの3時間だけで170㍉の雨が降りました。すぐに通り過ぎる夕立なら風情もあっていいのですが、集中豪雨は困ります。

## 夕立

夕立は、夕立雲が通過すると、1時間かそこらであっけなく終わります。また、「夕立は馬の背を分ける」といわれているように、きわめて狭い範囲で起こることが多いのも特徴です。車で走っているときに夕立にあうと、あつという間に夕立雲の下を通過して、雨が上がり、あっけにとられることもあります。

夕立に似たものとして、近年、集中豪雨が増えています。

ついこの間の7月25日、近畿



夕立は、あつという間に通り過ぎるのが特徴です。激しい雨が上がり、街がにぎわいを取り戻すのが面白いのでしょうか。またセミしぐれがかたのように、またセミしぐれが

俳句の題材として、よく登場します。

夕立にぬれたる幹をありのばる（小島梅雨）

夕立は、盛夏の午後によく起ります。積雲が発達して積乱雲となり、たちまち空一面に広がつて暗くなり、大粒の雨が激しい勢いで落ちてきます。雷を伴うことがあります。

夕立は、あつという間に通り過ぎるのが特徴です。激しい雨が上

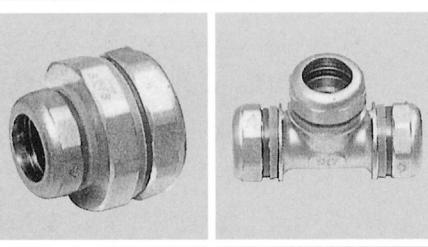
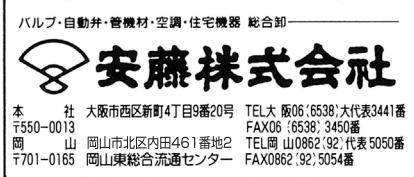
# 「適正」

をお届けします。



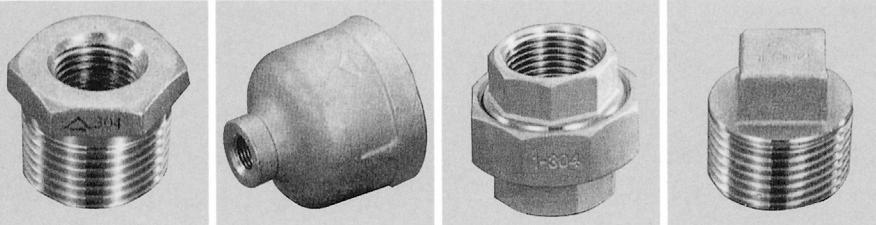
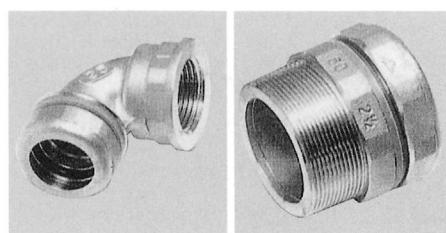
バルブ(BC・FC・コアタイト…)

建築技術の進歩と共に、設備工事における配管施工の技術の革新も大きく進歩しています。安藤株式会社は、多種多様な用途別ラインごとに適正な機種の選択をして、適正な商品をお届けする事を使命と考えております。



## ステンレス製品

メカニカル式管継手  
サスフィット 拡管式  
ねじ込み継手



 株式会社 吉年

本社・工場 〒586-8528 大阪府河内長野市上原西町16-1  
TEL:0721(53)3121 FAX:0721(54)1814  
東京支店 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-11  
TEL:03(5297)8221 FAX:03(5297)8222

## 印管継手

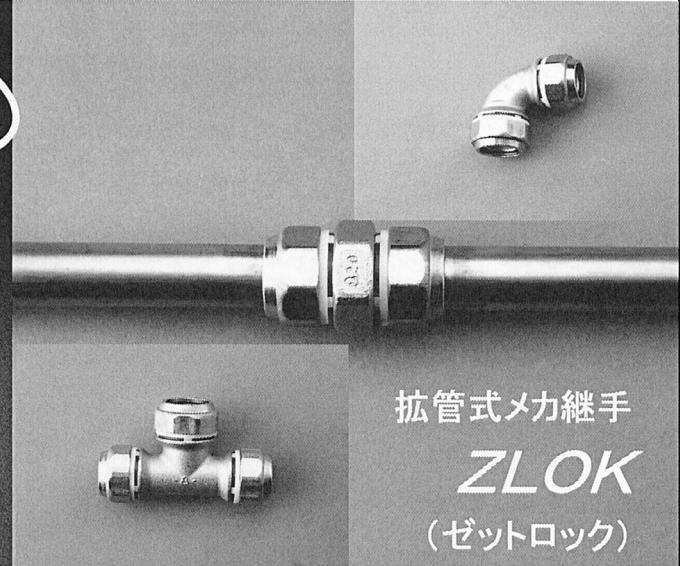
給水・給湯・冷温水に!! 2つのSUS管用継手登場!

 Materials Magic

ワンタッチ式

SUSDAKE(サスダケ)

新製品!



- ・印管継手
- ・管端防食管継手 PQWK
- ・日立カップリング継手 オメガシリーズ
- ・日立密閉型膨張タンクシリーズ
- ・ウォーターハンマ防止器

 日立金属株式会社

関西支店

〒541-0041

大阪市中央区北浜3-5-29(日生淀屋橋ビル)

TEL:06-6203-9704 FAX:06-6202-0730

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

HITACHI